

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 22 日 更新

事務事業名		合志市スポーツ協会活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	3 教育の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	牧野 淳一
	施 策	11 生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	田尻 真晃
	施策の柱	41 スポーツ団体の育成				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1509
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10822	根拠法令	スポーツ基本法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・合志市スポーツ協会補助金の交付 (合志市スポーツ協会では、菊池郡市民体育祭への派遣及び熊本県民体育祭への派遣、各種目協会・スポーツ少年団育成のための事業をおこなっている) ・菊池郡市スポーツ協会負担金の納入 ・熊本県民体育祭菊池地域・山鹿大会実行委員会負担金の納入
【業務の流れ】	合志市スポーツ協会補助金交付事務 (事業計画承認申請書の処理、内示の処理、補助金交付申請書の処理、補助金交付決定通知の発行、概算払申請書の処理、実績報告書の処理、補助金確定通知の発行)
【主な予算費目】	負担金・補助金
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 【目的】各スポーツ協会、各種目協会、スポーツ少年団、県民体育祭実行委員会の活動支援を行いスポーツ振興を図る。 【内容】補助金の交付、負担金の納入、養成費の助成等を行う。 【実績】合志市スポーツ協会への補助金交付事務・菊池郡市スポーツ協会及び熊本県民体育祭菊池地域・山鹿大会実行委員会へ負担金の納入を行った。また、各種目協会及びスポーツ少年団への養成費等の助成を行い、各団体の活動支援を行った。 【成果】各スポーツ団体が定期的に活動することで、スポーツの振興と指導者の育成、スポーツの機会と場の提供に寄与することができた。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志市スポーツ協会への補助金交付事務・菊池郡市スポーツ協会へ負担金の納入をする。また、郡市民体育祭・県民体育祭への選手の派遣を行なう。各種目協会とスポーツ少年団等の活動支援を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア 合志市スポーツ協会員数	人	熊本県民体育祭菊池地域・山鹿大会の終了による減(実行委員会負担金の減)
→ イ 合志市スポーツ協会加盟団体数	団体	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市スポーツ協会員		(単位) 人
		→ ア 合志市スポーツ協会員数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
合志市スポーツ協会会員に運動する機会を与える。		(単位) %
		→ ア 会員が所属する団体が定期的に活動している割合
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
団体が定期的に活動することで、会員が大会等に参加し、運動する機会を得ていることになると考えられる。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	人		2,157	2,152	3,000	1,738	3,000	3,000	3,000	3,000	
	団体		21	21	21	21	21	21	21	21	
② 対象指標	人		2,157	2,157	3,000	1,738	3,000	3,000	3,000	3,000	
	イ										
③ 成果指標	%		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資 事業 入費 量 人件 費	財源 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円				200				
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	3,328	8,516	13,642	7,277	7,163	8,000	6,000	6,000
	(A) 事業費計	千円	3,328	8,516	13,642	7,477	7,163	8,000	6,000	6,000	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	5	5	3	5	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	305	305	450	910	150	150	150	150
		(B)人件費計	千円	1,192	1,160	1,792	3,314	597	597	597	597
	トータルコスト(A)+(B)		千円	4,520	9,676	15,434	10,791	7,760	8,597	6,597	6,597

事務事業名	合志市スポーツ協会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 各種目協会が効率的な運営を行っている。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 各種目協会が効率的な運営を行うよう指導していく必要がある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 年間行事は郡市・県民体育祭が主な行事で未経験の市民が参加できる大会が少ないため、市主催のスポーツフェスティバルに参加を促し、市民が参加できる大会を行っている。さらには、各種目協会が定期的に大会を開催していけば市民が参加できる機会が増え、成果は向上する。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 将来的に総合型地域スポーツクラブとの連携、学校部活動の社会体育移行との連携が期待される。また市役所で事務局を持つのではなく、独立した体育協会として活動していく時期にきている。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 各種目協会が負担金を納入し、協会運営の一部としているが、市よりの補助金が運営費のほとんどであり削減余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金納入および補助金の交付が主であり、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 種目協会や体育協会の育成は市の役割であり、協会運営のための費用負担は適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 体育協会の事務局を行政が担っているが、行政から離れて、独立した団体への移管を考える時期にきている。

3 評価結果の総括（CHECK）

各種目協会の運営に補助を行うことで、スポーツの振興ができています。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								